住民の声でできた まちの魅力に気づけた!

私は経法商学科の地域社会コー スの専攻ですが、「まちづくり」」 という授業で、ひとつの地域を取 り上げて、具体的にどんな手法で まちづくりを行っているかのフィ ールドワークがありました。取り 上げた地域は、住民が主体となっ て街並みを作った「壺屋やちむん 通り」です。最初に先生から動画 を交えた説明を聞き、取り組みの 内容を把握しました。その後に実 際にやちむん通りを訪れて、まち の人たちに話を聞いたり、どんな ところが魅力か自分たちの目で見 て感じたことをまとめています。

私はこれまでやちむん通りは観 光地というイメージが強かったこ ともあって行く機会がなく、今回 のフィールドワークでほぼ初めて この場所に行きました。その時に 感じたのは、初めて訪れても、ど こか懐かしさや、ホッとする雰囲 気が魅力だということです。そし て、この街並みができたのは、住 民の声を一つ一つ拾い上げて実現 させたからというのを聞いて、と ても驚きました。住民が思い入れ があることで、まちを大切にする ことにつながって、それによって 県外から来た人たちにとっても魅 力的に映る風景ができたんだと思

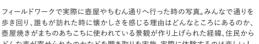
居心地の良い場所は、そう感じ るだけの条件があると思ったのと、 もし別の地域で同じようにまちづ くりをする場合、単に真似するだ

けではなかなか成功できず、その 地域にしかない特色を活かす必要 があることも分かりました。

沖大は沖縄をいろんな角度から 見て、知識を得ることができる授 業がたくさんあります。私が沖縄 関連の授業を多めに受講している せいもありますが、沖大に入らな ければ「沖縄にこんな面があるん だ」ということが分からなかった かもしれないと思います。沖縄が 大好きで、就職も絶対に沖縄で! と思っている私にとってはすごく 良かったです。

壺屋やちむん通りも、フィール ドワークの授業がなければ行く機 会はなかったかも知れないし、そ こに住民の人たちの声が反映され ていることも分からなかったと思 います。実際にその場所を訪れて、 自分で感じたことを通してリアル にその地域を知る体験ができたこ とが一番の学びだったかも、と思







どんな声が寄せられたのかなどを聞き取りを実施。実際に体験するのは楽しい!

成果は一冊のノートに

座学の授業の内容やフィールドワークで 収集した情報は、マップやイラストなど、見 た目も工夫して一冊のノートにまとめ、最後 の授業で提出。











壺屋やちむん通りで 地元の人も観光客も みんなが魅力的だと感じる まちづくりを学ぶ



法律、経済、経営という社会の基盤となる 分野を総合的に学ぶ経法商学科。 その中でも、地域に焦点を当てた授業が 多くある地域社会コースでは 実際に現地を訪れ、 歩いて回ったりインタビューをして さまざまなデータを集めて回る フィールドワークの授業が充実。 やちむん通りのまちづくりについて 活動に関わる人たちの声を 自分たちなりにまとめました。

上運天 那津

経法商学科 3年次 首里高校出身

FIELD WORK